

新型コロナウイルス感染症対策のため5月6日まで小中学校を臨時休校 県が要請しての休校なら県が財政的支援を

沼田市では、新型コロナウイルス感染症対策として休校にしていた小中学校を7日の始業式から再開しましたが、6日に知事や副知事などが市町村を訪問し、学校再開の延期を要請したことを受け、8日に13日から5月6日の連休まで小中学校を休校することにしました。

沼田市では、休校中に希望者には登校日を設ける予定で、3月の休校中の時のように学童保育所への先生の派遣や校庭などの利用ができるよう検討します。

学童保育所や子どもの学習などへの支援は、財政的支援も含め全面的に県がおこなう必要があります。



小学校に299人 中学校に383人が入学

小中学校の入学式が7日おこなわれ、小学校に299人、中学校に383人が入学しました。

今年の入学式は、新型コロナウイルスの影響で来賓のあいさつがないなど、簡素化されておこなわれました。



小学校で最も新入生が多かったのは、沼田東小学校の49人で、最も少なかったのは多那小学校の6人で、中学校では沼田中学校の新入生が105人で最も多く、多那中学校の新入生は5人と最も少ない新入生となりました。

沼田市が赤旗日曜版で紹介されました

「赤旗日曜版」4月5日号の「たび」のページ（21ページ）で、沼田市の観光情報が掲載されました。

記事では、沼田城址公園の櫓台の石垣や鐘楼の写真とともに、真田氏とのゆかりや正覚寺、天桂寺などが魅力的に紹介されています。

河岸段丘の写真、迦葉山の犬面面の写真とともに、沼田まつりや上州真田まつりなども紹介されました。



続ぶらり散歩 めまた道 利根町あれこれ 特別編その五十八

根利の宝篋印塔

根利の旧根利小学校近くにある宝篋印塔の基台には応永7年（1400）庚辰十一月八日と彫られており、今から620年前の宝篋印塔となります。



この宝篋印塔は言い伝えでは、上杉謙信の家臣が穴原方面に落ちのびようとした時、山崩れに遭い迂回の道もなく、この地で切腹したのを憐れんで塔を建てたと言われています。

しかし宝篋印塔が建てられたのは、上杉謙信が生まれるはるか前であり、組み直されていることから当時のままかは不明ですが、室町時代からあるものであれば貴重なものです。

南越生（なごお）

沼田平八郎景義は、沼田万鬼斎が天神城で十二代沼田城主朝憲を謀殺したことにより沼田城兵に攻められ、会津の芦名氏をたよって父万鬼斎と母湯のみとともに逃亡しました。

万鬼斎は会津で亡くなり、平八郎はその後、女淵城（旧粕川村）主となり、天正9年（1581）沼田城の奪還をめざし女淵城を出発しました。

平八郎は、片品川を挟んで南越生（多那）で真田軍と激戦を展開し勝利を収めました。



2020年4月12日

NO. 648

日本共産党 大東のぶゆき議員活動地域後援会ニュース

やまびこ

発行所 沼田市下久屋町983 Tel.23-1519 部内資料

こんにちは 大東のぶゆき です



緊急事態宣言が、経済をいっそう冷え込ませることは避けられず、先行き不安を抱える国民に安心と希望を与える対策に踏み切るべきです。

こんにちは。安倍首相は、新型コロナウイルス感染症の急増を受けた緊急事態宣言の発令に合わせ、緊急経済対策と2020年度補正予算を決定し、記者会見で世界的に見ても「最大級」だと総額108兆円の事業規模の大きさを強調しました。その中身は苦境に陥っている国民を支えるには、極めて不十分で、緊急事態宣言で国民にさらなる自粛と行動制限を求めるというのに、それに伴う国民の収入減と損失を補償する考えがまったくありません。緊急対策で何より問題なのは、感染拡大を防ぐという公共の目的のために起る損失を補償しないということには大きな問題があり、「一世帯30万円」という給付金も月収が半以下になった世帯など対象を狭めています。